

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

② 施設・事業所情報

名称：岐南さくら認定こども園 けやきの杜	種別：幼保連携型認定こども園
代表者氏名：堀 裕美	定員 190名 (利用人数 157名)
所在地：岐阜県羽島郡岐南町八剣1丁目105番地	
TEL：058-247-6392	ホームページ： http://ginansakurahoikuen.com
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成31年 4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 豊誠会	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 9名
専門職員	園長 1名 副園長 1名
	主幹保育教諭 2名 保育教諭 21名
	栄養士 3名 調理師
施設・設備の概要	保育室 10室 職員室 1室
	遊戯室 1室 給食室 1室
	ランチルーム1室 玄関ホール 1室

③ 理念・基本方針（※転載）

<p>理念・・・一人ひとりを大切にする愛情いっぱい、魅力ある教育・保育に取り組み自己肯定感を育み、生きる力・学ぶ力を培います。</p> <p>基本方針 ○安心・安全な環境作りに努めます。 ○地域から信頼される子育て支援を展開します。 ○創意工夫により、教育・保育の質を高めます。 ○幼児期の育ちや学びを小学校教育に繋げます。</p>
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

<p style="text-align: center;">独自性</p> <p>○系列に未満児専門保育園・三歳以上児の姉妹園・病児病後児保育・通所療育ルーム「さ</p>
--

くらんぼ」・発達支援事業所「よりどころ」など岐南町の幼児に関係する施設を併せ持ち、保護者や子どもの様々なニーズに応えている。

○運動遊びに力を入れ、講師を招致し子どもの年齢に応じた体づくりと体を動かすことの楽しさが得られるようにしている。園舎内・園庭も広く伸び伸びと遊べる環境を作っている。

○人材育成と職員配置に考慮し、法人内の他施設との職員移動・情報交換・交流研修・園内研修など充実し教育・保育の技術や質・人間性の向上に努めている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年4月19日（契約日） ～ 令和4年9月13日（評価結果確定日）
受審回数 （前回の受審時期）	0 回（令和 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・岐南町の児童福祉に豊かな経験を持つ統括園長の思いが込められた、新築の園舎。園名「けやきの杜」は園の周りを取り囲むようにある街路樹や園庭のけやきの木が印象的でけやきの杜の中にある子ども園を表現したという。
- ・新築園舎の玄関は広くゆったりとしたバリアフリー、絵本のコーナーや木のおもちゃ（カプラ）が迎えてくれている。事務室は玄関・縦格子から園庭が見渡せる位置にあり、登降園や付き添ってきた保護者の様子も分かりやすく、園児が園庭に出る場合も玄関を通り常に子どもの様子が分かる。玄関、各部屋に園長が自ら育てている生花が飾られ美しい環境作りがなされている。
- ・食育に考慮したランチルームは給食室と併合しカウンター越しに給食が作られていく様子が間近に見られ、子ども達に食への興味関心を高めている。
- ・廊下・オープン式の保育室は広くゆったりとして子どもに職員はゆとりをもって係わっている。
- ・コロナ流行から外部研修がウェブ研修になるなどデジタル化していく時代に鑑み、新たにパソコンを整備し事務・研修・会議等のデジタル化を推進していく予定をしている。
- ・統括園長の理想を現実にした「けやきの杜」で将来に渡ってのビジョンを描き実現し続ける 統括園長のもと、1～5歳の年齢に即した指導力のある園長、副園長、全職員「愛情いっぱい」「魅力ある教育・保育」「自己肯定感を育む」を実践している。理念

を実現するため研修を充実し、遊びの環境・心理面・技術面（今年は運動遊び）など様々研修し日々の教育・保育に活かしている。近年は新型コロナウイルス感染症の為、縮小された行事が多かったが保護者の協力を得て様々な行事を実行することができ、行事ごとの保護者アンケートで「感謝」や「うれしかった」との意見が多くあり自助共助の喜びを園や親子とも感じられ、職員も工夫することや協力へのモチベーションが高まった。給食は地産地消に心掛け、幼児期に色々な食品、季節を感じさせる献立・調理や盛り付けに工夫し食育に取り組んでいる。園だより、学年毎のたより、保健だより、食育だよりと園の出すたより以外に、専門講師による習字（あゆみ）、キッズヨガ&スポーツだより等も講師より出され、それぞれの内容や子どもの様子、活動の意図していることを保護者に分かりやすく伝えている。

- ・人材育成と職員の働きやすい職場作りに努め、余裕を持った職員体制にすることで研修参加や園内の緊急事態や職員の急な事情に安心して対応できている。今後、育児休暇を延長することにより、職員が家庭と仕事の両立がしやすくなり、人材の確保を安定させたいと計画している。

◇改善を求められる点

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

厚生労働省から、保育所の利用児童数のピークは2025年（令和7年）となる見込みであると発表されています。今後、利用児童数の減少や保育ニーズの内容に変化を想定して、当園は『地域になくてはならない園づくり』を目指しています。

その為には人材確保・保育士の定着・人材育成・保育の質の更なる向上、組織の強化などの人事戦略の構築は必要不可欠であると考えています。

第三者評価を受け、これからの時代は園経営におけるマネジメント体制づくりが求められることを指導していただきました。また、今回の第三者評価結果を受け、園長を始め全職員が『岐南さくら認定こども園 けやきの杜』を誇りに思い、子どもの最善の利益の保証を念頭に保育理念を共有し、更に日々の保育に反映していくことで、持続可能な園になっていくことを確信いたしました。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。